

平成 26 年 10 月 1 日

京口門だより No. 12

不順な気候は世の中の経済情勢にも影響を与えるようですが、病気のほうでも気候のせいかわかりませんが、デング熱のような感染症、アフリカではエボラ出血熱のような恐ろしい伝染病が流行ったりしています。デング熱はあまり重症化することの少ないウィルス性感染症で4~7日くらいの経過で治ってゆくようです。ちょうどインフルエンザのような高熱や関節痛を起こす症状ですが、発疹が出てくるのがインフルエンザとは異なります。

ウィルス性感染症などには漢方薬は無力ではないかと思われがちですが、それが案外有効であることがあります。先のエボラ出血熱などにはとても用いることはできませんが、インフルエンザには漢方薬にも有効な薬があります。インフルエンザにはタミフルやリレンザや吸入薬の抗インフルエンザ薬で治療するのが当たり前と思われるかもしれませんが、漢方薬でも麻黄湯(まおうとう)や柴葛解肌湯(さいかつげきとう)は適切に用いれば大変有効です。風邪の治療の時も申しましたが、漢方薬は時期や症状によって使い分けなければなりません、したがってインフルエンザだったらすぐこの薬と決めるわけにはいきません。それぞれの感染者の症状に応じて、漢方薬を処方しなければなりません。

デング熱のような感染症は現代医学では、対症療法しかないといわれますが、たとえば高熱や関節痛などには先に挙げたような漢方薬は効果があると思われれます。ロキソニンのような鎮痛解熱剤を使って副作用が出るくらいなら、漢方薬を用いて欲しいと思います。

そのほかハシカや風疹やおたふくかぜ(流行性耳下腺炎)などのウィルス性感染症は対症療法しかないといわれますが、漢方薬を用いますと短い経過でスッキリと治すことができます。

おたふく風邪`は子供に多いのですが、大人でも急性耳下腺炎を起こしてることがあります。これも現代医学では特別な治療法はないといわれますが、ある漢方薬で早く痛みも腫れも治ってゆきます。風疹も子供がかかりますが、妊婦や成人でも感染を起こし、重症化することがありますが、漢方薬で治療しますとこれも早くうまく治すことができます。

熱が出たり、発疹が出てくるようなウィルス感染症には漢方薬は効かないだろうと思わないで、子供でも大人でも相談いただければよろしいかと思います。

